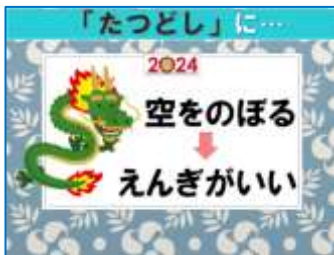


3学期 始業式 ~どんな目標を立てましたか?~

先週9日(火)に行った3学期の始業式は、少し寒い朝だったのですが、1年の始まりと3学期のスタートということもあり、体育館に参集して顔が見える形で行いました。まず、能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしようと黙とうをしました。年明けから地震、飛行機事故や火災といった悲しいニュースが立て続けでした。熊本地震を経験した私たちだからこそ、できることを考えていきたいと思っています。そして、あらためて与えられた自分のいのちを、精一杯生きていかなければいけないと考える機会になったという私の思いを伝えました。続けて、今年の干支である辰(龍・竜)にちなんで3点話をしました。

- 空を昇る龍の姿は、昔から縁起のいいものとされていたそうです。私たちも昇り龍のように、自分自身を高めていってほしいと願っていること
- 力強い龍のようにエネルギッシュな年にしてほしい。新たな目標や夢に向かって努力することで、個人の成長はもちろん、150周年を迎える大江小全体の発展にもつなげてほしいと思っていること
- 2024年辰年は、昨年まで努力してきたことが実を結ぶ年になるそうです。そして、辰年にさらなる努力をすることで、成功にスピード感を持って近づける年となるといわれていること



そして、今月の一文字を「夢」としたことへと話を続けていきました。新年のスタートに合わせて、今年の夢を考えた人も多いのではないかと思います。その夢をかなえるためには、自分自身の努力が必要だということで、夢をかなえた人の言葉である“人生が夢をつくるんじゃない 夢が人生をつくるんだ”という言葉を紹介しました。これは、今度ドジャースというチームに移籍された、二刀流として大リーグで活躍している大谷翔平選手の言葉です。大谷選手が17歳(高校3年生)の時に、将来何をしているか(目標など)を年齢別(18歳~70歳)に書いた、自分の人生を設計するための「夢シート」の真ん中に書かれているのが“人生が夢をつくるんじゃない 夢が人生をつくるんだ”なのです。そこに書かれていたWBC日本代表MVPの夢は、見事に達成されています。続けて、同じく高校の時に書いた「夢マップ」(「マンドラチャート」とも言われます)を紹介しました。これは、自分の夢を真ん中に書いて、その夢を実現するために何をしなければいけないかを、まわりに書いていくものです。基本的には3×3の9マスの枠に、さらに9マスの枠を別に複数書き、81マスで構成されています。大谷選手は真ん中に「ドラ1 8球団」と書き、そのまわりには「体づくり」や「スピード 160km/h」といった野球に必要な技術のほかに、「メンタル」や「人間性」といった点も書いてあります。その中に「運」という言葉があり、このまわりには「あいさつ」「ごみ拾い」「部屋そうじ」「審判への態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」と書かれています。つまり、大谷選手は「運」も味方につけるために、こうしたことを日頃から心がけていたというわけです。大谷選手の「夢」は、まだまだ続いています。自分の努力で野球選手としてだけでなく、一人の人間としても認められている大谷選手の姿に学ぶことが多いと感じています。